

① 土づくり（1㎡あたりの量）

- ・石 灰 100g
- ※石灰は1週間前に施し、耕しておくとうい
- ・牛糞堆肥 3リットル
- ・肥 料 100g

<ポイント>

大根は根が土深くまで伸びるので、石やゴミは取り除きながら、深く丁寧に耕し、やわらかい土を作ります。

② 種まき

- ・新潟だと8月下旬～9月中旬に種をまきます。
- ・大根は、カブやニンジンと同様に移植ができないので、苗ではなく種から育てます。
- ・畝は高ければ高いほどよいです（目安は30cm程度の高さ）
- ・株間を30cm空けて、種をまく場所に深さ1cm程度の穴をあけ、そこに4粒の種をまきます。（穴が深すぎると発芽しないので、深植えにならないように注意してください）
- ・種は鳥の大好物で狙われます。発芽するまでは不織布で覆うと良いです。
- ・種をまいたら、軽く土をのせて、たっぷりとお水を与えます。また、芽が出るまでは毎日水やりを行いましょう。（種まきから1週間程度で芽が出てきます♪）

③ 間引き・土寄せ・追肥

- ・芽が出て、本葉が1～2枚ついたら、生育の悪い苗を1本間引いて、3本にします。
※間引きとは？ → 苗を抜くことです。せっかく出てきた苗を抜いてしまうのは、かわいそうだと思いますが、成長させるために心を鬼にして、間引いてください。
- ・種まきから20日前後、本葉が3～4枚になったら2回目の間引きをします。間引いたら、肥料を30g/㎡施し、株元に土を寄せてあげます。
- ・本葉が6～7枚になったら、元気のよい株を残して間引いて、いよいよ苗を1本にします。間引いたら、肥料を30g/㎡施し、株元に土を寄せてあげます。

④ 収穫

- ・青首大根の場合は、直径7cmくらいになったら、収穫の適期です。
- ・収穫を遅らせる場合は、葉の下まで土をかけてあげてください。
- ・大根は大きいので、収穫の時に力を入れすぎて「しりもち」をつかないようにしてくださいね。
- ・土の中に石が混ざっていると「ふたまた」になります。…が、それはそれでオモシロいですね♪

【留意点】

- ・育成途中で何回かに分けて間引きを行いますが、「間引き菜」「大根菜」として食べられます。
- ・大根作りが初めての方は青首大根「耐病総太り」がおススメです。
- ・大根は大きいので、一日に2本～3本食べるのは無理かと思えます。ですので、種をまく時期を一週間ずつずらして、3回まいたりすると、長い間、収穫が楽しめますよ(^^)／